

2020年12月15日

味の素グループ、マレーシアでグループ初となるESGファイナンスの契約締結

～マレーシア味の素社が「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」による資金調達を実施～

味の素株式会社(社長：西井孝明 本社：東京都中央区)は、連結子会社であるマレーシア味の素社(AJINOMOTO (MALAYSIA) BERHAD、以下AMB社)が、同社の移転および新工場の建設に係る一部資金を、予め設定した環境目標の達成度に応じて取引条件が優遇されるESGファイナンスによって調達することを決定しました。

今回利用するのはESGファイナンスの中でも「サステナビリティ・リンク・ファイナンス(以下SLF)」と呼ばれるスキームで、三菱UFJフィナンシャル・グループのマレーシア法人MUFG BANK (MALAYSIA) BERHAD(以下MUFG BANK(MALAYSIA)社)によって提供されるものであり、AMB社は当社グループ初のESGファイナンス事例として、100百万マレーシア・リングット(約25億円)の取引契約を本日締結しました。

★ 1マレーシア・リングット=25.54円(2020年11月末レート)

2015年9月の国連サミットにおいてSDGs(持続可能な開発目標)が採択されて以降、SDGsの達成に向けた企業各社による貢献として、企業が投資の意思決定に環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)などの非財務指標を考慮したESG投資への関心が高まっています^{※1}。また、当社グループは2020-2025中期経営計画における「地域・地球との共生」への取り組みとして、2025年度までに温室効果ガスの排出量を30%、2030年度までに50%削減し(いずれも2018年度比)、経済的リスクを軽減する目標を設定しています。

※1)2020年8月時点で、世界におけるESG投資関連資産運用残高103.4兆ドル、投資分析と意思決定のプロセスにESG課題を組み込むことを提唱する責任投資原則(PRI)への署名機関数3,332社といずれも2015年当時の約2倍の伸長(出典：PRI)

このような背景のもと、MUFG BANK(MALAYSIA)社のSLFによる資金調達は、AMB社が予定している移転・新工場建設の進捗の円滑化に加えて、同社の環境目標達成に取り組む姿勢を示すものとして、本契約の締結に合意しました。AMB社はSLFの適用にあたり、当社グループが環境目標に設定する水準である、2025年度までの温室効果ガス排出量削減目標達成を目指します。さらに、AMB社が株式上場しているマレーシア証券取引所が認定する「ESGインデックス」^{※2}の維持もSLF適用の条件となります。これらの条件はMUFG BANK(MALAYSIA)社が毎年判定し、その結果に応じて取引条件が優遇されます。

※2)ロンドン証券取引所グループ傘下のFTSE Russell社が定める認定基準に準拠する

当社グループは2020-2025中期経営計画において、持続的に成長できる事業構造へ変革することをロードマップとして掲げており、マレーシアおよびASEANを中心とした周辺諸国への積極的な事業展開を通じて、新興国が牽引する市場成長への更なる貢献とロードマップを支えるオーガニック成長を目指します。

参 考

■ マレーシア味の素社の概要

- (1)英文会社名：AJINOMOTO (MALAYSIA) BERHAD
- (2)所在地：マレーシア・クアラルンプール市
- (3)設立時期：1961年
- (4)代表者：社長 安部 智晴
- (5)売上高：462百万マレーシア・リングット(約116億円)(2019年度)
- (6)従業員数：約600名(2020年6月時点)
- (7)事業内容：調味料等(うま味調味料「味の素[®]」、風味調味料「TUMIX[®]」)の製造・販売
- (8)資本金：約65百万マレーシア・リングット(約16億円)

2019年8月19日付プレスリリース

味の素(株)、マレーシア味の素社の新工場を建設

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2019_08_19.html

■ MUFG BANK(MALAYSIA)社の概要

(1)英文会社名：MUFG BANK (MALAYSIA) BERHAD

(2)所在地：Level 9 & 10, Menara IMC, No. 8 Jalan Sultan Ismail, 50250 Kuala Lumpur

(3)設立時期：1957年

(4)代表者：CEO 高松 文生

(5)売上高：450百万マレーシア・リングット(約115億円)(2018年度)

(6)従業員数：419名(2020年3月時点)

(7)事業内容：法人・個人に対する金融サービスの提供

(8)資本金：200百万マレーシア・リングット(約51億円)

味の素グループは、“アミノ酸のはたらき”で食習慣や高齢化に伴う課題を解決し、人々のウェルネスを共創する、食と健康の課題解決企業を目指しています。

私たちは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートメッセージに、アミノ酸が持つ可能性を科学的に追求し、事業を通じて地域や社会とともに新しい価値を創出することで、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2019年度の売上高は1兆1,000億円。世界35の国・地域を拠点に置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2020年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：[Pr_media](#)